

7月26日、自治労県本部第40年次自治研究会が盛岡市内で開催され、県職労から8人が結集した。

「自治研」活動は多岐にわたる

冒頭、平野あきの自治労県本部政治連盟事務局次長(北上市議会議員・北上市職労出身・自治労組織内)から、「自治研活動について」を講演。組合員は、①組合員、②職員、③住民の3つの顔を持つ。そして自治研活動は、この3つの顔の視点で自治体を取り巻く制度・政策面で改善が必要

7月26日、自治労県本部第40年次自治研究会が盛岡市内で開催され、県職労から8人が結集した。

要なことを討論し、政策実現に向けた提言や組織内・協力議員と連携した議会対策などに活かす活動をいう。自治体が行う政策に関し「組織体制として十分か」、「財政措置は十分か」、「政策は現場と合致しているか」などの視点から解決策やあるべき方向性を探る。組合員が抱える課題は制度・政策要求で実現しなければならぬ内容もある。この活動の出发点となるのが自治研活動である。例えば、担当業務に

ついて、職員個人では当該業務の矛盾を認識していても、職制上は問題を指摘しづらい。このため自治研活動で問題点を出し合い、改善を求める活動ともいえる。

分科会討論のようす

①「自治研入門」と②「公務職場の魅力向上」のテーマで討論を行った。

①では、自治研を始めるに当たった課題が討論された。県職労から「各評議会会の意見交換から得られた政策課題に係る推薦県議団との連携」、「公の施設指定管理料の資金スライド制の導入実現に向けた対応」を報告。組合員が職場で抱えている政策面での課題を洗い出し、制度政策要求に繋げていくと紹介した。北上市職労からは北上市立工科大学の構想を巡る自治研集会の状況が報告された。

②では、宮古市職労から職員の退職動向を分析し、離職防止のための働きやすい環境などの体制整備について話題提供があり、県職労からも若手をはじめ職員

の働きがいのある職場の実現に向けて意見を交わした。

自治研活動に向けて

自治研活動は組合員の日々の仕事や生活で感じている課題の改善に向け、制度政策要求につなげる活動。スタートは職場で日々感じている課題を話題とした討



▲「自治研入門」分科会討論のようす

書記長 小原 大 (農村建設課)

書記次長 菊池 映美 (定住推進課)

執行委員 高橋 伸明 (税務課)

執行委員 千葉 彩香 (農業普及課)

執行委員 五十嵐和昭 (水産振興課)

執行委員 北林 健 (森林保全課)

執行委員 渡邊 大基 (県北・沿岸振興課)

執行委員 高橋 幸宏 (県北・保健福祉課)

執行委員 長谷川秀綱 (健康国保課)

執行委員 佐藤 恵子 (自然保護課)

執行委員 古館 俊也 (県土整備企画課)

執行委員 藤原 彰 (経営企画部)

副支部長 高木 稔 (水産技術センター)

書記長 菅原 那津 (農林部)

書記次長 平嶋 正則 (水産部)

執行委員 千葉 将也 (保健福祉環境部)

執行委員 熊谷 和 (保健福祉環境部)

執行委員 宇都宮政彦 (土木部)

執行委員 横澤 祐司 (水産部)

執行委員 加賀 克昌 (漁業取締事務所)

執行委員 小野寺光文 (水産技術センター)

会計監事 大石 祐二 (経営企画部)

会計監事 菊地 克典 (土木部)



小田島県庁支部長

県庁・釜石支部 25支部体制確立

県職労県庁支部は7月24日、釜石支部が8月1日に今年度の支部役員選挙結果を公示した。立候補者全員が信任され新体制を確立した。

役員氏名は次のとおり。

県庁支部

支部長 小田島 淳 (河川課)

支部長 藤原 彰 (経営企画部)

足りていますか? 住宅・家財の保障

年々激甚化しつつある自然災害には 自然災害共済 ベーシック で 備えましょう!! 手厚い保障でおすすめ!!

風水害などの場合 **最高保障額 6,000万円** 加入限度口数600口の場合

※「自然災害共済」は単独での加入はできません。「火災共済」に付帯してご利用ください。 ※ご不明点などはまずは所属組合までご連絡ください。 ※ご契約に際してはパンフレットをご覧ください。

住まいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

こくみん共済 NEWS 5124B026

こくみん共済(全労済) 全国労働組合連合会

自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

鳥インフルエンザ対応等に係るアンケート調査結果概要

1 県対策本部で対応した結果

非常に満足	1	1.0%	不満	22	21.6%
満足	5	4.9%	非常に不満	16	15.7%
どちらでもない	58	56.9%			

※ 「県対策本部では従事していない」を除き、回答数 102 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 人使いが荒い。
- ・ 遠隔地からの出勤・拘束時間が長く、精神的に負担。
- ・ 拘束時間分の手当が出ない。
- ・ 連絡系統が混乱していた。
- ・ 作業不適格となった際の帰宅手段がない。

鳥インフル対応等アンケート結果

県職労本部はこのほど、今年1月に発生した高病原性鳥インフルエンザ対応に、3月にグループフォームによる電子回答と紙回答を併用して実施した「鳥インフルエンザ対応等に係るアンケート」を集計した。

全般的な傾向として、「非常に満足」「満足」は少なく、改善に至っていない課題も多々残されていることが確認できた。

労働条件等に対する気持ち(受け止め方)のうち、旅費支給については、407件の回答のうち138件(33.9%)が「非常に満足」「満足」となっており、勤務時間の割振り変更については、408件の回答のうち72件(17.6%)が「非常に満足」「満足」となっている。他の項目と比較して「非常に満足」「満足」の割合が多くなっている。県職労の働きかけによる運用変更の効果が表れたものと考えられる。

現地での食事・飲料等の提供については、他の項目と同様、「不満」「非常に不満」の割合が多いものの、回答数が265件であり、他の設問(概ね400件前後)の回答数と比較して少ない。判断に迷って無回答とした組合員も多かったものと考えられる。

このアンケート結果は、今後の交渉で取り上げるなどして活用していく。

2 広域支部・地方支部で対応した結果

非常に満足	2	0.7%	不満	88	29.4%
満足	18	6.0%	非常に不満	48	16.1%
どちらでもない	143	47.8%			

※ 「広域支部・地方支部では従事していない」を除き、回答数 299 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 拘束時間が長い。体育館での待機時間が長い。
- ・ 当初の体制が18時間でのシフトになっていた。
- ・ 通常業務に支障を生じた。同じ人が何度も対応していた。
- ・ 複数の業務に人を割かれた。
- ・ 人を出さない所属があった。
- ・ 振替を残業代にしてほしい。
- ・ 弁当がない。
- ・ 情報がない。情報手段が電話しかない。
- ・ 更衣室が途中から使えなくなった。
- ・ アウター手袋が破けた。
- ・ 指示に従わない人がいた。指示系統がめちゃくちゃであった。

3 防疫等作業手当について

非常に満足	7	1.8%	不満	101	25.6%
満足	22	5.6%	非常に不満	108	27.3%
どちらでもない	130	32.9%	その他	27	6.8%

※ 回答数 395 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 殺処分する人の手当が少なすぎる。
- ・ 390円は時給の加算額とすべき。
- ・ 民間作業員のほうが、手当が高い。
- ・ アメリカでは人に感染している。感染リスクに見合わない。

4 今回の鳥インフルエンザの殺処分に従事した回数(日をまたぐ出役は1回と数える)

1回	54	16.5%	6回	21	6.4%
2回	67	20.5%	7回	8	2.4%
3回	74	22.6%	8回	8	2.4%
4回	51	15.6%	9回	3	0.9%
5回	39	11.9%	10回以上	2	0.6%

※ 「0回」を除き、回答数 327 件。

5 今回の鳥インフルエンザの殺処分に対応した結果

非常に満足	3	0.9%	不満	107	32.3%
満足	16	4.8%	非常に不満	53	16.0%
どちらでもない	152	45.9%			

※ 「家畜防疫作業には従事していない」を除き、回答数 331 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 2日連続はやめてほしい。
- ・ 待機時間が多く、不要に時間を取られた。
- ・ 体力的にきつい。
- ・ 通常業務に支障。
- ・ 年末年始の県外帰省が台無しになり、振替では取り戻せない。
- ・ 食事・防寒具の持ち込みが負担である。
- ・ 物資不足で作業効率が悪い。
- ・ (どちらでもない・その他)
- ・ 従事しない人がいる。免除の定義を明確にすべき。
- ・ 2024年5月の豚熱のときよりは充実していた。

6 現場での人員体制について

非常に満足	4	1.0%	不満	89	22.0%
満足	52	12.8%	非常に不満	37	9.1%
どちらでもない	203	50.1%	その他	20	4.9%

※ 回答数 405 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 運営班はほぼ休憩がなかった。
- ・ 理切対応の当番が回ってくるのは早い(土木)。
- ・ 限られた人に何度も当番が回ってくるのが問題。
- ・ 人数過多のケースがあった。(どちらでもない・その他)
- ・ 殺処分が終わったら、人数を減らして良い。
- ・ 女性ができる作業は限られる。
- ・ 健康状態で作業従事できない人が多すぎる。
- ・ 医師の診断にムラがあった。
- ・ 畜産事情の分かる班長が血圧で不在となり、作業効率が悪かった。司令塔業務限定で対応できないものか。

7 労働条件等に対する気持ち(受けとめ方)

① 旅費支給(駐車場利用料等含む)について

非常に満足	11	2.7%	不満	46	11.3%
満足	127	31.2%	非常に不満	26	6.4%
どちらでもない	184	45.2%	その他	13	3.2%

※ 回答数 407 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 現地経費が750円から1,500円に変更されたのはありがたかった。
- ・ 帰省先からの出張対応を認めたのは良かった。
- ・ 駐車料金が支給された。
- ・ (不満・非常に不満)
- ・ 現地経費変更の対応が後手になり、支給業務が増えた。
- ・ 私用車出張の承認を取得できず、対応に苦慮した。
- ・ 現地までの私用車利用を認めてほしい。
- ・ 深夜の業務終了後、宿泊先までの交通費が支給されなかった。
- ・ 自家用車通勤のため、駐車料金が支給されなかった。
- ・ 駐車場の領収書が取得もれのため、駐車料金が支給されなかった。

② 勤務時間の割振り変更について(超過勤務手当を含む)

非常に満足	7	1.7%	不満	104	25.5%
満足	65	15.9%	非常に不満	69	16.9%
どちらでもない	150	36.8%	その他	13	3.2%

※ 回答数 408 件。

【その理由(主なもの)】 (不満・非常に不満)

- ・ 正月3日が日を普通の休日と対等に扱うのは不満。
- ・ 代休取得を求められたが、連休にはすると言われた。
- ・ 振替にすると割増賃金がもらえない。
- ・ 振替と超過手当を個人で選べるほうがよい。
- ・ 17時15分まで通常業務に従事して、22時から対応するのは無理がある。
- ・ 勤務時間の割振り変更が煩雑。
- ・ フレックス利用を紙決裁で変更するのに時間を要した。
- ・ 夜間対応すると、翌日は年次休暇にせざるを得ない。
- ・ 生活リズムを戻すのに時間を要する。
- ・ 公用車移動2時間が自分の運転でなかったため、勤務時間に含まれなかった。
- ・ 勤務時間インターバルを適用してほしい。

8 現場での指揮命令体制について

非常に満足	5	1.2%	不満	94	23.4%
満足	66	16.4%	非常に不満	41	10.2%
どちらでもない	178	44.3%	その他	18	4.5%

※ 回答数 402 件。

【その理由(主なもの)】 (非常に満足・満足)

- ・ 事前に作業内容・交代時間を共有し、作業がスムーズだった。(不満・非常に不満)
- ・ 前回の積み上げが活用されていない。
- ・ 人員不足で引継ぎが十分にできず、指揮体制に影響があった。
- ・ 運営班リーダーの指揮がなく、聞いてもわからないことがあった。
- ・ 待機時間が長い。
- ・ メガホンを用いて指示してほしい。聞き取れない。
- ・ 情報が少ない中で班長に判断させるのは困難。
- ・ 班長ではなく慣れた職員が指示を出し、命令系統がバラバラになっていた。